

2011 年 2 月 28 日

報道関係各位

中部学院大学

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム

産官学連携「キャリア支援懇談会」を開催

中部学院大学（岡本 健 学長）は、文科省の学生支援推進プログラムの採択を受けていますが、産官学連携事業として、キャリア支援懇談会を開催します。

本学は同プログラムにおいて、「進路決定率100%、進路満足度100%の巣立ち支援体制の確立」をテーマに、学生の就職支援を進めてきました。（別紙参照）。

今回の懇談会では、地域の求める人材像や本学の果たすべき役割を明確にするために、県内の産業界（社会福祉施設、一般企業）、官界・公的団体（岐阜労働労働局、県経営者協会）などの関係者と意見を交わし、キャリア教育、就業教育のあり方について方向性を探ります。

記

- 日時 2011（平成23）年3月11日（金）14：00～16：00
- 場所 ホテルグランヴェール岐山
（岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地 TEL：058-263-7111）
- 出席者 産業界（社会福祉施設＝介護、養護、保育）、一般企業
官界・公的団体（岐阜労働局、県経営者協会）
中部学院大学 学長 ほか
- 懇談会での内容
 - 1）本学が実施した「大学教育に対する要望および満足度調査」の結果報告
 - 2）本学が取り組んでいる「進路決定率100%、進路満足度100%の巣立ち支援体制の確立」の中間報告
 - 3）「キャリア教育、就業教育のあり方」と本学が対処すべき課題

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学キャリア支援センター（担当：梅村 センター長） TEL:0575-24-2216

中部学院大学

「進路決定率 100%・進路満足度 100%の巣立ち支援体制の確立」

【概要】

この取り組みは、学生の卒業後、40年間、地域に根を下ろして豊かな人生を送るための基盤づくりと位置づけている。学内対策を基盤に、地域の求人ニーズ調査、卒業生や保護者との密接な関係の構築、県経営者協会など外部機関との連携を図る。併せて、情報のデータベース化、評価検証機関の設置などで学生支援体制を強化する。

(学内対策)

- ・ 学生の意欲、主体性、就職スキルを高める少人数のラーニング・コミュニティの形成
- ・ 内発的なキャリア開発力の育成
- ・ 就職行動遅滞者・ミスマッチを繰り返す学生の早期発見

【趣旨・目的】

- ① 進路決定率 100%の達成を目指す
- ② 学生と雇用双方の満足度 100%の達成を目指す

【具体的な取り組み】

- ・ 卒業生も含めた学生の情報、雇用側の評価、満足度などの情報をデータベース化する
- ・ 有資格者によるカウンセリングスタッフを配置し、個別対応の窓口機能を強化する
- ・ 取り組み成果を産官学連携体制で検証し、学生のキャリア開発力形成支援を強化し、目標の達成を目指す。